



インフルエンザは普通の風邪とは違います!!

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。一般的に症状は1週間程度で治まりますが、幼児や高齢者、慢性疾患のある方などでは重症化しやすいため、注意が必要です。

主な感染経路

- ▶ **飛沫感染** 感染者のくしゃみやせきで出る唾などを吸い込むことで感染する。感染者の半径2m以内にいる人は、感染の危険性が高くなります。
- ▶ **接触感染** 感染者の唾などが付いたドアノブやつり革などを介して、ウイルスが口や喉の粘膜に触れることで感染します。

インフルエンザの症状

風邪とよく似た症状で、38度以上の急な発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強くなるのが特徴です。

受診すると、医師がインフルエンザウイルスの増殖を抑える薬を処方します。この薬は早ければ早いほど効果がありますので「インフルエンザにかかったかな」と思ったら、すぐに受診しましょう。



インフルエンザの予防法

- ▶ 栄養と休養を十分にとる
- ▶ 人ごみを避ける
- ▶ 外出時はマスクを着用する
鼻からあごの下まですっぽりと覆うことが肝心
- ▶ 外出後の手洗いとうがい
手洗いはせっけんを使って最低15秒以上。うがいは喉の乾燥を防ぎます。



- ▶ 適度な温度・湿度を保つ
- ▶ 予防接種を受ける
ワクチンの効果が現われるまで2週間程度かかり、その効果は約5カ月間持続します。インフルエンザは12月下旬から3月上旬に流行することが多いため、12月中旬までに予防接種を受けておくことをお勧めします。

市ではインフルエンザ予防接種費用の助成を行っています。詳しくは本紙10月15日号をご覧ください。

市長の部屋から



11月7日(土)

「夢と絆のつどい」が泉中学校で行われました。保護者や地域の方々、教育関係者が一堂に会し、子どもたちの成長する姿を確かめ合うことができました。



児童・生徒、家庭、地域がひとつになって土岐市の教育をつくっていくこと。それを皆さんと確かめ合うことが「夢と絆のつどい」の目的です。今日この全体会の前に各教室で行われた公開授業で、子どもたちのハキハキと発言する元気な姿を見ることができ、家庭や地域と良い連携がとれていることを実感できました。

今後も皆さんのご協力を得ながら、子どもを取り巻く教育環境を一層充実させていきたいと考えます。

土岐市長 加藤靖也

